

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第89回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時 : 2025 年 8 月 8 日 (金) 13:30 ~ 14:30

2. 場 所 : WebexによるWeb会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

委員) 中野 (信)、莊田、宮永、中浜、中野 (佑)、曾根、大橋、梅原、山本、長嶺

以上 10名

常時参加者) 西村、山崎、前田 以上 3名

オブザーバ) 榎菌 以上 1名

4. 配布資料

【P11PWG89-0】	第 89 回 PWR 水化学管理指針作業会議事次第
【P11PWG89-1】	第 88 回 PWR 水化学管理指針作業会議事録案
【P11PWG89-2】	人事について
【P11PWG89-3】	システム安全専門部会議事録 (PWR 一次系水化学管理指針 抜粋)
【P11PWG89-4-1】	補助蒸気系統の水質管理について (P11PWG-87-3-7 と同じ)
【P11PWG89-5-1】	ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050 対応の要請について
【P11PWG89-5-2】	ISO/NP 26047
【P11PWG89-5-3】	(ご参考) ISO/NP 26047 の機械翻訳
【P11PWG89-5-4】	ISO/NP 26047 検討報告書
【P11PWG89-5-5】	ISO/NP 26047 検討報告書 別紙
【P11PWG89-5-6】	ISO/NP 26050
【P11PWG89-5-7】	(ご参考) ISO/NP 26050 の機械翻訳
【P11PWG89-5-8】	ISO/NP 26050 検討報告書
【P11PWG89-5-9】	ISO/NP 26050 検討報告書 別紙

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

宮永幹事より出席者の確認があった。委員全員の出席を確認し、本作業会は成立することが確認された。

(2) 前回議事録確認

宮永幹事より、資料P11PWG89-1「第88回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について

確認があった。作業会終了までに出席者からのコメント・修正は無く、正式版として承認された。

### (3) 人事について

中野主査より、資料P11PWG89-2「人事について」に基づき、宮永幹事（九州電力㈱）の委員退任と榎菌氏の委員就任（九州電力㈱）の説明があった。榎菌氏の委員就任については、出席委員多数の賛成により、承認された。

また、新幹事の選任は、主査・副主査で協議の上、決定することとなっており、榎菌氏の委員就任が分科会にて承認された後となる次回作業会で報告することとした。

### (4) PWR一次系水化学管理指針の改定について

中野主査より、資料P11PWG89-3「システム安全専門部会 議事録（PWR一次系水化学管理指針の改定 抜粋）」に基づき、8/4に開催されたシステム安全専門部会におけるPWR一次系水化学管理指針改定に関する本報告の審議結果について説明があり、1ヶ月間の意見募集に移行したことが報告された。

### (5) PWR二次系水化学管理指針の改定について

中野主査より、資料P11PWG89-4-1「補助蒸気系統の水質管理について」に関し、第87回作業会で各委員持ち帰り検討となっていた補助蒸気系統の水質管理値の設定について確認があった。出席者からの主な意見は次の通り。

- ・ 油脂類や全鉄、溶存酸素（DO）、塩化物イオン濃度など測定していない項目が多く、推奨値とはいえ設定には賛同できない。
- ・ 系統構成上（冷却できない等理由で）ボイラ缶水のサンプリングができないプラントがある。
- ・ 追加の背景である高経年化対策（PLM）に主眼を置いた関連項目のみ記載するという案も考えられ、腐食抑制の観点からヒドラジンや腐食環境の監視を目的としたpHが考えられる。

協議の結果、解説に追記することを想定するが、項目や管理値を記載した表は削除することとし、補助蒸気系統の健全性の観点の文章を検討し、次回作業会で協議することとした。

また、同じく第87回作業会で各委員持ち帰り検討としていた水処理変遷については、プラント名は伏せた形式で改定することで合意、ETAと電気伝導率の関係については電共研のデータ開示可否の取扱いも含め、今後検討することとした。

(6) ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050対応の要請について

中野主査より、ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050対応に関する出席者の意見について確認があった。主な意見は以下の通り。

- ・ 何れの規格についてプラント固有の内容や運用面に関わる項目が多い。場合によっては、ISO（案）の規定から外れることもあり得る。
- ・ 学会指針の管理値と異なるものもあり、設定根拠の確認は必要と思われる。

委員による採決の結果、何れの案についても反対とすることで合意し、回答に付記する理由については、別途共有することとした。

(7) その他

- ・ 次回作業会は、9月第2週 or 3週を目途に別途調整することとした。

以 上